



広島女学院同窓会 東京支部ニュース

編集・発行 東京支部役員会

2016. 5. 30
第 67 号

今年度の聖句

「わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです」

コリントの信徒への手紙一 3章9節

新東京支部長になって

瀧口京子 (白井/高23・文英5)

今年度より、皆様のご推挙により、新しく東京支部長となった瀧口京子です。

受験番号312番、家族中で懂れていた広島女学院中学に入ることができました。入学式で、「讚美歌312番」との先生の声に、受験番号と同じだとどきりとしたこと、懐かしく思い出します。「いつくしみ深き友なるイエスは」今でも大好きな讚美歌です。明るく楽しく個性的な友達がたくさんできました。心に刻まれた「我らは神と共に働く者なり」この言葉は、「自分は何のために生まれてきたのか」と自問するたびに、繰り返し思い出すのです。

私は広島女学院大学を卒業し、2年間お勤めしたのち高橋圭三プロダクションに入り、フリーアナウンサーとなって上京しました。そして、プロダクションの仲間や放送局のスタッフなど、友人や知人がたくさんできました。しかし、ある時ふと、この友人知人はすべて仕事を通じて知り合った人たちで、ライバルでもあり、緊張する間柄なのだなと思ったのです。学生時代の友達は広島にしかいないのだなと感じていた頃、東京にも同窓会があることを知って東京支部の役員に加えていただきました。全員私より先輩で、初めのうちは何をしたいのかわからないことばかりでしたが、やさしく色々なことを教えていただきました。それから20年。今では後輩も加わってくれて、月に一回の和気藹々とした会議で同窓生に会えるのがとても楽しみです。

今年はその同窓会東京支部ができて75周年。同窓会本部に大切に保管してある古い記録ノートを見せていただきました。昭和16年4月23日、東京支部発会、第一回総会記録という一行目。戦没将士の英霊に対し、感謝の黙祷のあと讚美歌斉唱、お祈り、そして今後の事務所は東京市麻布区富士見町、櫻村

氏宅に置く、総会は毎年ゲーンズ先生のお誕生日4月23日に行うことなど決めてあり、月に一回の会議、また、日野原先生の上京により、臨時同窓会や、ピアノコンサート、茶話会などなど楽しいことも書いてありますが、

学校の財政面の苦しさやキリスト教に対する不穏な空気にも触れて、「東京支部としても微力ながら、母校の尊き歴史を守るために皆様と協力努力せんことを誓ふのであった」などの記述があり、広島から遠く離れたこの地で母校のことを思う同窓生の姿が浮かび上がってきます。数々の困難なこともあったであろうに、ここまでつないでくださった先輩の方々に心から感謝します。

今年は広島女学院創立130周年を迎え、関東からもお祝いの気持ちを伝えたいと10月に祝会を開く予定です。折しも、奥様が同窓生の岸田外務大臣が広島でG7外相会議を開催し、アメリカのケリー國務長官が来広され、続いて、現職米大統領として初めてオバマ大統領が広島を訪問されるそうで、広島から世界に向けて平和のメッセージを発信する歴史的な第一歩の年に、平和を希求し神と共に働く私たちの母校が130周年を迎えることは、大変、意義深いことと思います。

広島女学院の更なる発展と同窓会の隆盛を祈念し、次の世代に無事に手渡せるよう、東京支部長としてがんばります。ご指導よろしく申し上げます。



東京支部主催 あやめの会

～ 学士会館ランチ と 皇居東御苑散策のひととき～

一昨年から開催しております「あやめの会」は、広島女学院創立 130 周年を迎える今年、フランス料理ランチと皇居東御苑散策を企画いたしました。

皇居東御苑は旧江戸城の本丸、二の丸、三の丸の一部を宮殿造営にあわせて皇居附属庭園として整備されました。苑内では四季折々に咲き誇る花や野鳥などの生き物を観察することができます。

三の丸尚蔵館には、皇室から寄贈された貴重な美術品が展示されています。

支部役員で江戸東京博物館のボランティアもされている佐藤美代子さんの解説を聞きながら、一時間程度の散策を予定しております。

菖蒲田を背景に、学友との交流をお楽しみになりませんか。

参加ご希望の方は、下記連絡先までお申し込みください。お誘いあわせの上、幅広い会員の皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。



©学士会館



©宮内庁

2016年6月19日(日)

集合: 11時30分 学士会館 1階

会場: レストラン Latin (ラタン)

〒101-8459 千代田区神田錦町 3-28

都営三田線「神保町」A9 出口から徒歩 1分

東京メトロ東西線「竹橋」3a 出口から徒歩 5分

03-3292-5936 (代表)

会費: 大人 2,600 円

こども 2,000 円(お子様プレートご注文の方)

人数: ランチは先着 35 名様

(お子様とお料理シェアも可能です)

※ 歩きやすい服装と靴でお出かけ下さい

※ 雨天決行

散策のみでもご参加いただけます

13時30分 皇居東御苑 平川門 集合

申込: gaines_tokyo@yahoo.co.jp または
090-3689-5960 小林(当日もこちらまで)

6月15日(水)締め切り



全国代表者会議 報告

4月22日（金）、ゲーンズホール別棟チャペルで同窓会全国代表者会議が開催されました。全国からの代表と本部幹事、合わせて43名が集まり、関東ブロックからはブロック長 坂下 恵（杉田/文英1）と東京支部長 瀧口京子（白井/高校23、文英5）が出席しました。



開会に当たり大矢みどり会長から、現役生から東大へ推薦入試の合格者があったこと、先日の外相会議で来広された外相夫人たちが岸田裕子外相夫人（高35）の案内で高校を訪問され、証言集の英訳版を手渡せたことなどの報告があり、「大学は湊院長・学長が強い使命感で頑張ってくださいているのでバックアップしたい」と結ばれました。

礼拝では、小田部三恵子牧師から、“CUM DEO LABORAMUS”とは神が働かれるのを助けて働くこと、許すことの意味、一步進むには目を上にあげて祈ることなど、経験談も交えて教えて頂きました。

昨年度の報告と今年度の計画が承認された後、各ブロックの活動報告、意見交換を行い、敷地内の原爆死没者慰霊碑の前で祈りを捧げました。

ホームカミングデー 報告

翌4月23日（土）には、リーガロイヤルホテルにてホームカミングデーが催されました。今年のテーマは「伝えること～伝統と誇り～」。

礼拝ではチャプレンの澤村雅史先生から、新入生に伝えている言葉として、「地の塩 世の光 として歩む」と題したメッセージを頂きました。

大矢会長の開会のことば、中川日出男新理事長のご挨拶に続いて、湊 晶子 院長・学長の講演「ライフキャリアを生かす建学の精神」では、「人格者とはぶれない人。判断するだけでなく切断できる勇気を持つことが大切。」と教えて頂きました。



土井由美子さん（高38・会友）によるショパン作曲「英雄ポロネーズ」の華やかなピアノ演奏のあと、星野晴夫校長の食前の祈りと高田憲治園長の乾杯で会食タイムへ。

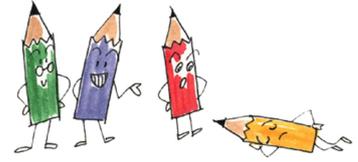
ご出席の先生方へのインタビューでは、退職後もお元気な先生方の近況を伺い、プロジェクトにはBGMによって卒業アルバムからの写真などが

次々と映し出され、当時の懐かしい映像に歓声が上がりました。



同窓生の歌「どんなに時が流れても」と讃美歌、校歌を全員で歌い、松村則子実行委員長（高校16）の挨拶をもってお開きとなりました。出席者は今年も300名を超えました。（坂下）





私と彫刻

佐々木タカコ (高5)

高3の英語の先生だったミス・アンダーソンから“聖和の保育科で勉強しないか”と誘われ、貧乏学生だった私は奨学金を頂いて保育士になり、以後52年間も保育に関わってきた。少々不謹慎だが、用意されたレールに乗って突っ走った感すらある。幼稚園に勤めていた頃もしきりに自分探しをしていたなど、今、振り返る。



郷里広島や母校の付属幼稚園で働いた後、福岡は宗像市の小さな幼稚園に主任教諭として迎えられた。女学院の妹尾先生がまだ御健在だった頃、勤め先を探している私を見つけて、「思いっきり好きなように保育できるところだし、日本のコートダジュールと言われる程美しい遠浅海岸と松原が続いているところ」だと誘われて面白いな

と思った。園児は、或る事情から減りに減って6人になったという所だった。「好きなように若い貴女の感覚で立て直して欲しい!」とその小さな教会幼稚園の牧師に頭を下げられ、驚いて「ハイ」と答えてしまった。実は日本のコートダジュールにも魅かれていたのだった。24歳の頃だ。余り多くもない智恵を全部絞り出して連日頑張った。思い返すと吹き出す程おかしな事もたくさんしたのだった。

そこに慣れたころから、絵を描きたい、何か作りたいと思い始めていた。保育の傍ら、開校間もない武蔵野美大の通信教育科に入学し、デッサンやレポートを提出していたが、郵便による学校との連なりはもどかしくて、学校に近い所で働きな

がら勉強したいと思い始めていた。幼稚園は順調に園児を増やして60余名になり、先生も3人になって活気に溢れていた。初めの約束は果たせたと感じた。楽しく働いていたのでちょっと後ろ髪をひかれたが、機会があって東京の幼稚園に移った。幼稚園の夏休み中にスクーリングにも楽に出席できて、初めて基礎実習の彫塑を受講し、女性の首像を作った。すべてが新鮮で満足していた。

しかし、徐々に増える提出レポートの数々は次第に仕事との両立を阻み、中途退学するしかなかった。計15年間務めた幼稚園から企業内保育の設立に参加したが、景気経済の下降で保育園設立の話はストップした。場所は替わったが、15年勤めた幼稚園を一旦辞めた時、美術学校へ行こうと思った。生活費をバイトで補い、美術予備校へ通うことにした。一步踏み出したところで挫折。再び保育の世界に戻った。保育士を募集していた乳児施設に勤め、定年60歳までの25年間、更その後12年間も非常勤勤務についたのだった。

そこは幼稚園とは全く異なり、2歳までの乳児の収容型保育施設で24時間交代制の保育だった。1970年代のここでの仕事は厳しく、只々、日々追われるような具合だった。親の保護が得られず、国に依る児童福祉の保護を受けながら暮らす子供たちの背景はドラマティックでもあり、同じ人として生まれて来たのにこの差は何?と感じていた。人皆平等というけれど、ここでは不平等なのである。唯一救いとなったのは、この不条理にも関わらず育って行く彼らの力強さだった。彼らを支えている児童福祉とは?と突き当たり、'74年、社会人の入学が可能な大学で福祉を学ぶことにした。



短大卒業後20年目の再勉強は厳しくて、小まめ

に辞書を引いたり参考資料を読むのさえ苦痛だったことを思い出す。自由選択だった卒論にも挑戦し、卒業となったが、だからといって私の児童福祉への疑問が解けたり、福祉現場の何か解明できた訳でもなかった。保育現場で懸命に努力して、



子供たちがより家庭に近い生活ができるように努力した。道はなかなか厳しかったが、振り返って見れば、長い年月の間に様々な変化・向上が生じてはいた。保育と大学に使っていた時間だったが、卒業したことでフリーな時間ができた。

ところが50歳近くなり、役職が付くようになったら、再びフリーな時間など持てなくなってしまった。美術から距離を置かざるを得ず、そのまま定年。その後の非常勤の12年も含めた37年間を終えた日、私は72歳になっていた。

次の日、私の足は武蔵野美術学園に向かっていた。油絵科に在籍し、3年で研究科を終えた時、あの女性首像を作った時の手の感覚、楽しさを思い、彫刻科に移った。75歳になっていた。口の悪い先生は、「君はおかしな人だ。普通は年になったら彫刻から絵画に移るのに、馬鹿だなあ」と笑う。やりたいことになかなか辿り着けないでいた私を、時とこれまでの仕事や生活が彫刻することへと誘導してくれたと思う。

いつの間にか私は81歳になった。昨年の夏、京橋の「ギャラリー檜」で傘寿記念の個展を開くことができた。連日たくさんの友人、知人、旧友、同窓生の方々が訪れてくださり、乳児院で赤ん坊だった子が子供を連れて来てくれたり、賑わった。

その後、会場から持ち帰った作品で部屋は満杯。新学期が始まり、私は週4日、いつもの様に特大おむすび2ヶとたっぷりのおかず、お茶のポット、赤ヘル着用、Myチャリで学校へ通う。制作気分は、Andante e Cantabile。

2015 クリスマス会 報告

昨年の12月12日(土)、久しぶりに銀座教会の大礼拝堂をお借りしてクリスマス会をもちました。

東京支部宗教委員の千代崎満子さんの司式による礼拝では、梁 在哲牧師の「主のはしため」と題した説教で、「聖書では女性が軽んじられてはいない。キリストの復活は誰よりも早く女性たちに告げられた。イエスの方から私達に近づいて来て下さる。へりくだって、その時を待ち望む者になりたい。」と教えて頂きました。

第二部は5階の「ぶどう」で懇親会。お茶とお菓子でしばし歓談の後、マイクを回しました。

清水富士子さん(柊木/高14)からはミャンマーに小学校を建てる事業に協力されているお話を伺い、さらに、広島女学院中高のグローバル教育推進部教員の高見知伸さんからの手紙の代読で、文科省からスーパー グローバル ハイ

スクールの指定を受けたことから海外研修先として、清水さんが紹介したミャンマーも選ばれ、様々な準備を経て、1月に中高生10人が5日間の日程で現地へ赴くことが報告されました。

また、オペラ歌手の岡崎智恵子さん(高22)がアリアを歌ってくださる嬉しいハプニングもあり、讃美歌もたくさん歌って、校歌でお開きとしました。参加者は、お子さん2名も加えて、45名でした。

日本基督教団の隠退教職ホーム「にじのいえ信愛荘」への寄付として皆さまから14,100円頂き、東京支部の名で送らせて頂きました。

なお、後日、清水さんより「ミャンマーの小学校への寄付を13,000円も頂いた」とお礼のメールを頂いたことをお伝えします。また、海外研修については女学院中高のホームページの「SGH 今週の実践」に写真入りで詳しく報告されています。ご覧ください。(坂下)



2015年度 広島女学院同窓会東京支部 会計報告

2015年4月1日～2016年3月31日

収 入			支 出		
費 目	金 額	摘 要	費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	506,951		支部ニュース費	375,369	印刷代、送料、封筒代
支部会費	604,000		役員会費	96,800	役員会会場費、交通費
受取利息	81		支部活動費	59,613	屋形船、クリスマス会
寄付	17,360		通信事務費	39,316	支部ニュース以外の通信費
			関東ブロック分担金	54,640	夏雲の集い
			次年度繰越金	502,654	
合計	1,128,392			1,128,392	

上記の通り会計報告をいたします。

2016年3月31日 会計 滋野 順子 

監査の結果、収支報告に相違ありません。

2016年4月5日 会計監査 小池 明子 

2016年度の東京支部役員

支部長	瀧口京子 (白井) 高23、文英5
副支部長・会計	滋野順子 (前埜) 高19
副支部長	桜井悦子 (瀬川) 高23、文英5
書記	佐藤美代子 (池田) 高22、文日4
宗教委員	千代崎満子 (白根) 高33、文英15
関東ブロック長・編集長	坂下 恵 (杉田) 文英1
編集委員	小林悦子 (土生) 高46
〃	平田香里 (高原) 高47
〃	野口裕美 (伊藤) 高44、文英26
会計サブ	松岡理乃 (木沢) 高30
実行委員	鈴木章子 (岩田) 高19、文英1
〃	西山朋子 (佐々木) 高22、文英4
〃	藤居阿紀子 (森) 高25
会計監査	小池明子 (田辺) 高14

役員会

毎月 第2火曜日(原則)
10時～12時
銀座教会にて

飛び入り参加歓迎です!

今年度の企画

- * 支部ニュース発行 (5月、11月)
- * ランチと皇居東御苑散策(6/19)
- * 夏雲の集い (7/8・指路教会)
- * 創立 130周年を祝う会(10/8)
- * クリスマス会 (12月)



支部会費納入のお願い

支部活動は皆様からの会費で成り立っています。
2016年度の会費(2,000円)の納入をお願いいたします。
同封の振替用紙または銀行振込をご利用下さい。

三菱東京UFJ銀行 高田馬場支店
普通預金 0473771
広島女学院同窓会東京支部

封筒の宛名シールに「*」が付いている方は、今年度の会費を納入済みです。
手違いで振替用紙が入っていた場合はご容赦下さい。
80歳以上の方は会費免除ですが
お気持ちがありましたら、お願い致します。

♪新役員さんたち（高校30～47回）のおしゃべり♪

■ 東京支部役員会に入ったきっかけは？

野口：女学院時代が懐かしく、久しぶりに礼拝にも行きたいと思い、支部ニュースを拝見してクリスマス礼拝に伺いました。その時にお誘いを受け、なにかの御恩返しになればと思って入りました。

松岡：3年前の支部ニュースで高校19回の先輩の「ソーシャルメイクアップ講座」があるのを知り、興味もあったので、初めて銀座教会に伺いました。その先輩を含め、役員の方々の人柄に惹かれて礼拝に足を運ぶうち、何となく。(笑)

小林：支部会費の振込用紙の通信欄に「お手伝いできることがあれば」と書いたことで、役員の方から連絡がありました。愛着とか感謝とかいろんな感情をひっくるめて女学院のことが大好きなので、同じく女学院好きの友人と5、6年前からクリスマス礼拝はマスト行事として参加していました。

平田：小林さんと同じく気軽な気持ちで振込用紙の通信欄にひと言メッセージを書きまして、一緒に若い風を送り込むことになりました。何より、子供ができて学校に行くような年齢になった時、ふと女学院時代の楽しかった日々が思い出され、懐かしい気持ちとともに、東京にいるからこそ故郷とのつながりをいつまでも感じていたいと思い、参加した次第です。

■ 役員会に入ってみた感想は？

松岡：正直言って最初は役員会というと、少し気が引けたのですが、参加してみて役員の方々のフレンドリーさに驚きました。今では月一度の役員会の後、ランチを頂きながら、先輩方に子育てや介護の悩み等聞いてもらうのが自分にとっての癒しになっています。

野口：役員会は銀座教会の集会室で、お菓子をいただきながら、和やかな雰囲気で行われていることを知りました。今回初めて支部ニュースの記事を書かせていただき、先輩のご指導を受けて様々なパソコン編集の知識も増えました。

平田：和やかなムードながら、真剣に同窓会を良くしたい、女学院のために何かしたいという諸先輩方の熱い思いをいつも実感しています。仕事や子供の行事などで毎月役員会に参加することはできないのですが、入った当初からいつでも温かく迎えてくださるので、あまりプレッシャーを感

じることなく参加しています。みなさん広島を離れてかなりの年数が経つにもかかわらず、ふとした拍子に出てくる広島弁、広島イントネーションがなんとも心地よいです！役員会の後のランチ会では子育ての悩みにのっていただき、いつも助けていただいています。

小林：仕事や子供の学校のことで月に1回の役員会に欠席することもしばしばですし、役員として役に立っている感は正直あまりありませんが、さまざまな年代の先輩方との雑談はとても楽しいです。会議の進め方や考え方が勉強になるのはもちろん、何気ない会話から生活の知恵など吸収できたりもします。(笑)

■ 同窓会でやってみたいことは？

小林：仕事を持つ人も多く、また子供に手がかかる世代(30～40歳代)なのですが、同世代の同窓生にもっと色々な企画に参加していただきたいと思っています。そのためにも、役員会に我々世代ならではの提案をしたりして魅力的な同窓会作りのお手伝いできればと思います。

野口：役員の方にお借りした湊院長のご著書にも刺激を受けたのですが、同窓生の方に、家庭で眠っている才能や特技を生かしていただけるような機会を作りたいです。まだ思いつきの段階ですが、人材バンクのようなものをイメージしています。そのためにはもっと多くの会員の方のお力をお借りしたいです。

松岡：今現在の希望ですが、30回～40回生(50歳前後)の同窓会参加を増やしたいです。「創立130周年を祝う会」をきっかけに礼拝等への参加が増えればいいのですが。

平田：あくまでもアイディアですが、20代、30代の方々にもっと同窓会に参加していただくために、諸先輩方のご知見やご経験が共有できるキャリアカウンセリングや、大学生の方々にはOG訪問のような形で、少し上の年代の方々との座談会を開いたりできると交流が深まるかなと考えています。地方出身者ならではの東京での就職や子育ての悩みを分かちあい、生き活きと生活できるきっかけづくりになればと思います。女学院出身者は本当にいろいろな職種で活躍されている方が多いので参考になりますし、なにより励みになります！同窓会活動の楽しさを若い世代にもっとアピールしていきたいですね。

2016 夏雲の集い

関東ブロック主催

～原爆死没者追悼礼拝～

関東ブロックでは、母校での350名の犠牲者を追悼し、平和に向き合う集会として、故山本知子先生の提唱による「夏雲の集い」を1988年から毎年開催してきました。今年には横浜の歴史ある指路教会をお借りして行います。

7月8日(金)

13:00～15:30

日本キリスト教団 横浜指路教会

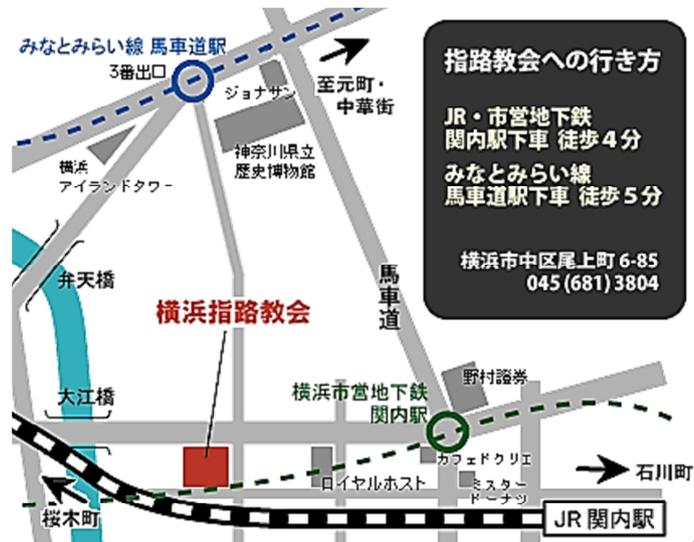
横浜市中区尾上町 6-85

JR線、横浜市営地下鉄線 関内駅 徒歩4分

礼拝・説教：藤掛順一牧師

梅宮玲子さん(天野・高24)の
歌「ヒロシマ」他

是非、お誘い合わせてご参加ください。



関東ブロック主催

広島女学院創立 130 周年を祝う会

2016年 10月8日(土)

ANAインターコンチネンタル東京

詳細は 同封のご案内をご覧ください。

参加費の振替用紙も同封しています。

関東ブロック以外の同窓生のご参加も歓迎します。

協力して下さる実行委員を募集中です！

編集後記

- * 東京支部の役員会が新体制になりました。新役員さんたちも頑張ってくれています。
- * 同窓会活動についてのご意見、ご提案、ご要望など、何でも結構ですので、お寄せください。
- * 東京支部のクリスマス会などの際にピアノ伴奏をして下さる方を求めています。自薦、他薦、お願いします。
- * 6月19日(日)のフランス料理と皇居東御苑散策は、申し込みの上、ご参加ください。
- * 創立130周年を祝う会は10月8日(土)。申し込みは同封の振替用紙でお早め。

関東ブロック主催「広島女学院創立 130周年を祝う会」

皆さまには、日ごろ同窓会活動にご理解・ご協力をいただき、有難うございます。

さて、本年は広島女学院創立 130 周年にあたります。母校の発展に尽くして来られた方々に感謝しつつ歴史を振り返り、更なる発展を願って下記のように関東ブロック主催「広島女学院創立 130 周年を祝う会」を開催いたします。

広島から湊晶子院長・学長、星野晴夫中高校長、大矢同窓会長などの皆様をお迎えします。そして、日野原重明先生（聖路加国際病院名誉院長）にも、ゲーンズ先生ご存命当時にご尊父日野原善輔先生に校長、院長としてご尽力頂いたご縁でご出席いただける予定です。

NHK交響楽団でご活躍中の同窓生 田中晶子さんのヴァイオリン演奏もご一緒にお楽しみいただき、意義あるひとときをお過ごしいただきたく、ご案内申し上げます。

記

- 日 時**：2016年10月8日(土) 12:00～15:00 (受付11:30～)
会 場：ANA インターコンチネンタルホテル東京 (東京都港区赤坂1丁目12-33)
会 費：10,000円
申込締切：8月31日(水)・・・同封の振替用紙での会費振り込みにて申込完了です。
支部年会費の振替用紙とお間違えないよう、ご注意ください。
キャンセル締め切り：9月24日(土)、払戻金は半額。これ以降の払戻しはいたしかねます。

★会場へのアクセス

溜池山王駅(南北線・銀座線)13番出口より徒歩1分、六本木一丁目駅(南北線)3番出口より徒歩2分



<問い合わせ>

東京支部(坂下)Tel /Fax 03-5386-0740

神奈川支部(徳久)Tel /Fax 045-383-6404

千葉支部(村中)Tel 043-266-3342

埼玉支部(清水)Tel /Fax 049-261-0284